

韓国語スピーチコンテスト「話してみよう韓国語」 文京学院大学 外国語学部4年生がスピーチ部門で『奨励賞』を受賞 「私の最高の姿」をテーマに発表

文京学院大学（学長：福井勉）は、外国語学部4年の板垣舞雪さんが、2025年12月6日に開催された韓国語スピーチコンテスト「話してみよう韓国語」東京・学生／一般大会2025＜スピーチ部門＞本選において、『奨励賞』を受賞したことをお知らせします。なお、板垣さんは2021年の同大会＜一般スキット部門＞においても『優秀賞』を受賞しており、今回は2度目の受賞の快挙となります。

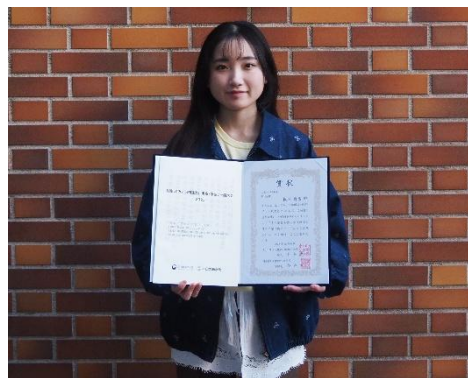
「話してみよう韓国語」東京・学生／一般大会2025 および今回の受賞について

「話してみよう韓国語」東京大会（主催：駐日韓国大使館 韓国文化院、専門学校 神田外語学院／共催：韓国文化院 世宗学堂）は、一般から大学生・中高校生まで幅広い韓国語の学習者が参加し、韓国語の表現力を競う大会です。2003年から東京と大阪で始まり、「日韓友情年」を契機に2005年から毎年のように開催都市が増え、現在では全国7都市で開催されている歴史ある韓国語のスピーチコンテストです。

学生／一般大会では、一人で5分間のスピーチを行う＜スピーチ部門＞と、2人1組で参加し、制限時間3分で指定された台本を暗記し、自由創作を加え韓国語の発音や表現力を競う＜一般スキット部門＞が設けられ、韓国語を母語としない学習者が発音・表現力・内容構成などを競います。中でも＜スピーチ部門＞は、総合力が問われるハイレベルな部門として知られています。

今回、板垣さんは、本選で「私の最高の姿」をテーマにした韓国語による5分間のスピーチを行いました。そして、本選出場者の中でも特に優れた表現力や内容、語学運用力が求められる『奨励賞』を見事受賞しました。『最優秀賞』『優秀賞』に次ぐ賞です。

板垣さんはこれまで、韓国語学習歴わずか1年で同大会＜スキット部門＞『優秀賞』（2021年）を受賞、2022年には韓国・光云大学への1年間留学を経験。2023年には韓国語能力試験（TOPIK）最上級6級を取得するなど、在学期間中に着実に語学力を積み上げてきました。卒業年次となる今年は、自由テーマでスピーチに臨み、発音・表現（50点）／内容・構成（40点）／暗唱（10点）に基づく審査でその語学力が高く評価されました。



賞状を手にする板垣さん

【受賞コメント】板垣舞雪さん（外国語学部4年）

大学生活の集大成であり、特別な想いを持って挑んだスピーチをたくさんの方々に聞いていただき、とても嬉しいです。スピーチの主人公である韓国人の友人をはじめ、多くの方の協力と応援で、「私の最高の姿」というスピーチがより磨かれていったのではないかと思います。それに加え、『奨励賞』という結果もいただき、とても価値のある経験になりました。卒業後も、韓国語だけではなく、幅広い分野を勉強しながら、日本と韓国の架け橋のような存在になれるよう精進して参ります。

本学は今後も学生の語学実践機会の充実と国際交流力の育成に取り組み、世界で活躍できる人材育成を推進していきます。